

令和6年2月県議会定例会の結果について

教育政策課

1 日 時

2月14日(水)～3月13日(水)	29日間
代表質問 2月20日(火)、21日(水)	2日間
一般質問 2月22日(木)～29日(木)	5日間
委員会 3月4日(月)～6日(水)	3日間

2 教育委員会関係の議案等

- (1) 令和6年度長野県一般会計予算案 原案どおり可決
(主な事業)
 - ・一人ひとりに合った学び推進事業
 - ・魅力アップUP校支援事業
 - ・長野スクールデザイン(NSD)実施事業
 - ・特別支援学校の図書機能の充実事業
 - ・地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業 等
- (2) 令和6年度長野県高等学校等奨学資金貸付金特別会計予算案 原案どおり可決
- (3) 条例案
 - ・長野県学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案 原案どおり可決
- (4) 事件案
 - ・高等学校の統合について 原案どおり可決
- (5) 令和5年度長野県一般会計補正予算(第6号)案 原案どおり可決
 - ・GIGAスクール構想加速化基金積立金 1,283,632千円
 - ・給料、職員手当等 △2,421,367千円
- (6) 令和5年度長野県高等学校等奨学資金貸付金特別会計補正予算(第1号)案 原案どおり可決
- (7) 産業観光企業委員会からの意見聴取
 - ・資金積立金条例の一部を改正する条例案
原案のとおり可決すべきものと決するに異存ない旨、産業観光企業委員長あて回答

3 代表質問及び一般質問の概要

代表質問においては、3人の会派代表議員全員から、一般質問においては、一般質問を行った36人の議員のうち19人の議員から教育委員会関係について質問があった。

(1) 主な質問項目

- ・ライフプランニング教育の重要性と今後の取組について
- ・中学校部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題や今後の取組について
- ・教員不足への対策と新年度における欠員対策について
- ・特別支援学校の施設整備と図書館の蔵書数について
- ・探究的な学びの実現のための取組について
- ・不登校に係る教育支援センターの充実やメタバースを活用した支援について
- ・つばさプロジェクトの現状と今後の取組について
- ・夜間中学と学びの多様化学校の併設に係る検討について
- ・大規模災害発生時における学校の対応や支援等について
- ・学校を楽しくて行きたい場所にしていくための取組について

(2) 主な議論の内容

ライフプランニング教育の重要性と今後の取組についての質問に対し、ライフプランニング教育は、多様な生き方が認められる時代にあって、自分自身を見つめ、自分の可能性を見出すことで、職業的なキャリアを含め、人生を豊かにするために重要であると認識しており、今後も、特色ある取組への支援、外部講師による教員対象の研修会の実施などを通し、ライフプランニング教育の充実に努めていくと答弁。

中学校部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題や令和6年度の取組についての質問に対し、移行に向けた実証事業をとおして、近隣市町村との広域的な連携、適切な指導者謝金や参加費の設定等それぞれの地域の実情に応じた取組が進められた一方、指導者や生徒の移動手段の確保、地域クラブ活動の認知度の低さなどが課題として挙げられること、また、生徒・保護者・教職員を対象に行ったアンケートからは、現在の部活動よりも専門性の高い指導や生徒個々の希望に応じた活動、部活動にない種目などへの期待が高いことが分かったこと、令和6年度は、地域クラブ活動への移行の機運の醸成を図るとともに、指導者の人材の発掘を進め、さらに総括コーディネーターを拡充し、市町村等からの相談への対応や、複数市町村の連携による運営団体の設立に向けた支援などを行っていくと答弁。

教員不足への対策と新年度における欠員対策についての質問に対し、教員不足への対応については、働き方改革や長野県の教員として働く魅力の発信、採用選考の改善が大切であり、例えば、時間外勤務の縮減のほか、教職員がメンタルヘルスを良好に保つためのサポートガイドの作成、県内高校生を対象としたPR活動や首都圏の学生向け説明会の開催、採用選考における大学推薦枠や英語資格所有者枠の設置などの取組を行ってきており、さらに来年度は、専門家の知見を取り入れた更なる働き方改革の推進、長野県への移住希望者等を対象とした「信州UIJターン秋選考」の実施などを進めていくこと、また、欠員対策については、欠員対策のためのサポート教員や産育休代替教員の増員、新たな講師登録者を増やすための掘り起こしなど、子どもたちへの切れ目のない教育の実現や教育の質の確保に努めていくと答弁。

4 文教委員会における質疑の概要及び請願・陳情の審査について

(1) 主な質疑項目

- ・高校再編における取組について

- ・部活動の地域クラブ活動への移行について
- ・情報セキュリティの徹底について
- ・教員の働き方改革に係る取組などについて
- ・教員の退職理由の把握について
- ・特別支援学校の設備整備やスクールバスの増車等について
- ・若者の活字離れとデジとしよ信州の活用について
- ・平和学習について
- ・SC や SSW の活動に対する課題や状況について
- ・LINE の相談事業の運用について
- ・信州やまなみ国スポ・全障スポの役員の人材確保や会場施設への支援等について
- ・薬物乱用防止教育の推進について
- ・学校における災害時の対応や防災の備え等について
- ・子供たちの可能性を信じられる教員であるためにどうすべきかについて

(2) 主な議論の内容

教育委員会からは、高校再編について、新校再編実施計画懇話会を開催し、新たな高校づくりを進めていると説明し、委員からは、懇話会での議論を更に充実させ、地域の方々との合意形成を丁寧に行い、地域の思いを汲んだ再編・整備を進めるとともに、少子化の更なる進行や情報化など社会情勢の変化を踏まえ、再編基準の見直しや今後の高校のあり方などの検討を求める意見などが出された。

また、現在、取組を進めている、公立中学校における部活動の地域クラブ活動への移行について、生徒が安心して活動に参加できるよう、受け皿となる団体の整備や指導者の確保、保護者の経済的負担など様々な課題を地元の市町村や教育委員会と連携して、検討するよう意見が出された。

このほか、教員の非違行為の根絶と個人情報データの漏洩の再発防止と管理徹底や、学校における災害への備え、教員の働き方改革など、引き続き、積極的に取り組むよう意見が出された。

(3) 請願・陳情の状況

請願	0 件（うち新規	0 件）	採択 0 件
陳情	32 件（うち新規	2 件）	採択 2 件、継続審査 30 件